

飛騨市の財務状況把握の結果概要

(H30.11.19 東海財務局 岐阜財務事務所)

総合評価

平成28年度



今後の見通し(平成34年度)

債務償還能力 → 問題ない

資金繰り状況 → 問題ない

債務償還能力 → 問題ない

資金繰り状況 → 問題ない

財務指標

指標	① 実質債務月収倍率 $\left(\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収入} \div 12} \right)$	② 債務償還可能年数 $\left(\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収支}} \right)$	③ 行政経常収支率 $\left(\frac{\text{行政経常収支}}{\text{行政経常収入}} \right)$	④ 積立金等月収倍率 $\left(\frac{\text{積立金等残高}}{\text{行政経常収入} \div 12} \right)$
問題なし	実質債務残高なし ↑ 3.9月	実質債務残高なし ↑ 1.4年	22.7% ↓ 19.3%	12.3月 ↓ 10.7月
やや注意	18.0月	15.0年	10.0%	3.0月
注意	24.0月		0.0%	1.0月

債務償還能力

資金繰り状況

留意点

(1) 公共施設の適切な管理について

貴市は、平成29年3月に「飛騨市公共施設等総合管理計画」を策定し、その計画のなかで、現在保有する公共施設を更新していくためには将来的に財源不足が生じると試算している。その一方、広大な市域を有する貴市は、市域を網羅した行政運営を行う必要があることや過疎地域における地域振興等の必要性から、機能が重複している公共施設の適切な整理統合が必ずしも順調に進んでいない。

今後、人口減少の更なる進行により、住民一人当たりの維持管理コストの上昇が見込まれることなどから、施設の整理統合と行政需要とのバランスを念頭に置きつつ、計画的で予防的な修繕の実施などにより、適切な公共施設の整理及び管理に努められたい。

(2) 下水道事業会計に対する繰出金について

貴市は、旧町村が整備した多くの下水処理施設を有することなどの理由により、施設の維持管理効率の低下が認められ、過去5年間に於ける一般会計から下水道事業会計への繰出比率は、類似団体と比較して高い水準となっている。平成29年3月策定の経営戦略によれば、今後、企業債残高が減少することで下水道事業会計への繰出金も減少すると見込んでいるものの、将来的には、人口減少などの理由により、収支が悪化する可能性も考えられることから、今後も一般会計から下水道事業会計への繰出比率の水準について注視していく必要があるとともに、経営戦略に基づき効率化を検討する等、収支の改善に努められたい。

(3) 農業の活性化に向けた取組みについて

貴市は、農業への労働力の集積度合いが他市町村と比較して高く、農業は貴市を特徴付ける基盤産業の一つとなっている。

一方で、貴市の調査によれば今後、農家数及び耕作面積の減少が懸念されていることから、貴市は、農業の担い手を確保するために、JAひだ等と連携のうえ「飛騨地域トマト研修所」を開所するなど、新規就農者確保に向けた施策を着実に進めているほか、収益基盤強化策として、楽天株式会社と包括連携協定を締結し、インターネットを活用した販路拡大など、農業の活性化に資する取組みを積極的に推進している。

基盤産業の一つである農業の衰退は、将来的な人口維持及び財政の持続可能性に相当程度の影響を及ぼすと考えられることから、これらの取組みをより推進し、貴市の特色を生かした農業の活性化に努められたい。